



長生

Kouhou Nagahama

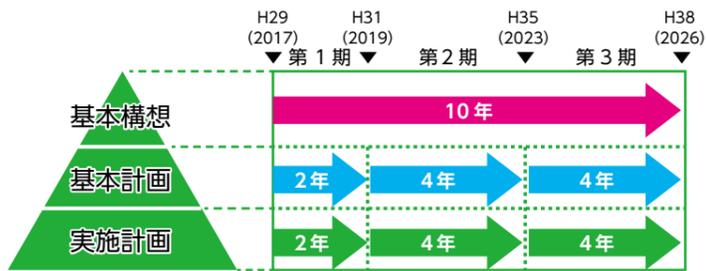
2016

将来、長浜市をどのような「まち」にしていくのか、そのためにどのようなことをしていくのかを総合的・計画的にまとめたものです。

また、各分野別の計画を総合的に調整しながら、市の施策全体を体系化し、進捗・達成状況の管理を行う市の最も基本

総合計画とは

この度、市民目線からの示唆に富んだアイデアを盛り込み、総合計画新基本構想（案）を取りまとめましたので、皆さんのご意見をお聞かせください。



今回、市民懇話会に参加させていただき、各界で活躍されている方々との交流から、今まで知らなかった長浜のまちの魅力や、10年後の長浜市について、改めて考えるよい機会をいただけたと感謝しています。

特に長浜市は今後人口の減少が大きな課題となっていくと見えます。解決のためには、行政と企業が手をとり合って協力していくこと、安心して子どもを産み育てられる医療、福祉の充実したまちづくり、そして、曳山まつりや琵琶湖など観光都市長浜の魅力を発信していくことが欠かせないと感じました。

私自身、3人の子どもを育てながら仕事をしています。子育てを一人で担いすぎて精神的に疲れてしまい、笑顔が出せない時は、行政の力も借りながら、元気を持って働き、魅力ある長浜市を作っていける一員でありたい。そう感じています。

多士済々のメンバーに緊張した初回が懐かしく思い出されます。5回に渡り10年後の長浜の姿について議論百出が繰り返されました。参加メンバー一人ひとりの長浜への情熱と愛情、それぞれの立場からの専門的な発言が刺激となって、気付けば郷土愛と未来への願いを私も口にしています。当初は地域医療や健康の専門家としての発言でしたが、徐々に地元の文化と歴史を愛する市民として、子育て中の父親としての提案をさせていただきました。

この計画は長浜の未来のための小さな種にしか過ぎず、これから土を耕し、水を撒き、光を注ぐという花々を咲かせるための不断の努力が欠かせないものと感じております。人口減少と多様化するライフスタイルという時代だからこそ、市民一人ひとりが危機感と期待感を持ち、計画に命を吹き込むための協働と参画のまちづくりが欠かせないことも実感した懇話会でした。

多士済々のメンバーに緊張した初回が懐かしく思い出されます。5回に渡り10年後の長浜の姿について議論百出が繰り返されました。参加メンバー一人ひとりの長浜への情熱と愛情、それぞれの立場からの専門的な発言が刺激となって、気付けば郷土愛と未来への願いを私も口にしています。当初は地域医療や健康の専門家としての発言でしたが、徐々に地元の文化と歴史を愛する市民として、子育て中の父親としての提案をさせていただきました。

この計画は長浜の未来のための小さな種にしか過ぎず、これから土を耕し、水を撒き、光を注ぐという花々を咲かせるための不断の努力が欠かせないものと感じております。人口減少と多様化するライフスタイルという時代だからこそ、市民一人ひとりが危機感と期待感を持ち、計画に命を吹き込むための協働と参画のまちづくりが欠かせないことも実感した懇話会でした。

総合計画は、まちづくりにおいて目指す将来都市像とその理念を示し、実現のための政策を示す「基本構想」、その実現に向けた施策とその目標を体系的に定める「基本計画」、具体的な事業を示し、その進捗管理を行う「実施計画」の3つの階層から構成されます。

総合計画の構成

総合計画は、まちづくりにおいて目指す将来都市像とその理念を示し、実現のための政策を示す「基本構想」、その実現に向けた施策とその目標を体系的に定める「基本計画」、具体的な事業を示し、その進捗管理を行う「実施計画」の3つの階層から構成されます。



居川 安子さん
(中小企業経営)



松井 善典さん
(浅井東診療所所長(医師))

市民懇話会メンバーの思い

10年後の自分を想像してください。

あなたは、輝いているでしょうか。

「長浜で暮らし、学び、働く人々が、それぞれ夢と希望を抱きながら力を発揮できる」、そんなまちを目指して、市では、10年、20年先を見据えた新たな「長浜市総合計画」の策定を進めています。



長浜市総合計画

Challenge & Creation



みんなの一步で創るまち



長浜市総合計画 新基本構想(案)の概要

これからの10年、20年先を見据え、市民の皆さんと行政が分かち合うことができる目指すまちの姿を描き、その実現に向けたまちづくりの基本方針を明らかにするために、外部委員で構成する総合計画審議会や市民の皆さんから建設的な意見・提言をいただきながら、市の総合計画策定委員会で検討を重ね、「長浜市総合計画 新基本構想(案)」を下記概要のとおり取りまとめました。



将来都市像

新たな感性を生かし みんなで未来を創るまち 長浜

今日まで育んできた和やかな暮らしや自然・歴史・文化などを大切にしながらも、積極的に新しい物事へ取り組んでいこうとする長浜らしい気質を生かして、一人ひとりがこれまでの価値観を超えた自由な発想で新しいまちづくりに挑戦できる。そして、その取組が互いに連携・協働した大きな力で未来のまちの姿を創造していくことを目指します。

チャレンジ アンド クリエイション
合言葉は、Challenge & Creation (挑戦と創造)

まちづくりの重点テーマ

かがやく

郷土を愛し、柔軟な発想力と多様な価値観を持ちながら、次世代を想像・創造していけるような、人が“かがやく”まちを目指します。

目指す将来都市像

地域に関わる様々な主体が連携・協力して資源や産業を磨きあげ、都市の魅力と競争力を高めることで、仕事があり活力が“みなぎる”まちを目指します。

みなぎる

予想される時代の変化に前もって対応し、暮らしのあり方・価値観を再構築しながら、一人ひとりが幸せを見つけ、日々の生活の中で“つながる”まちを目指します。

つながる

まちづくりの政策

将来都市像の実現や重点テーマの推進に向けて、今後、取り組むべき基礎的なまちづくり分野について、6つの政策を掲げ、それぞれ次のようなまちづくりを実践します。

教育・文化

～健やかで豊かな心が育つ～

- 地域ぐるみの教育や、生涯学習・文化スポーツの活動などを通じて、地域に暮らす全ての人々が活躍できるまちづくり
- 一人ひとりの個性を認め合い伸ばし合いながら、豊かな人間性を持ち、健やかに成長できる環境づくり

自治・行政

～市民と共に創る～

- 時代の変化に伴って多様化・高度化するニーズや複雑化する地域課題の解決に向けて、地域づくり協議会や自治会、NPO、市民活動団体など、まちづくりに関わる多くの主体や人材の力を育むとともに、その力を生かした連携・協働による、官民一体となったまちづくり

産業・交流

～まちの魅力が光り
活力にあふれる～

- 既存産業の活性化、新たな産業の創出・育成、雇用づくり、起業の支援など、地域経済基盤の安定と振興に向けた取組
- 地域資源を保存・活用した新たな魅力創出と、その魅力を生かした交流で賑わうまちづくり

健康・福祉

～いきいきと温かく生きる～

- 健康づくりや、地域のなかで支え合う医療・福祉体制の充実による、全ての人々が、生涯を通じて充実した生活を営むことができるまちづくり
- 地域の環(わ)のなかで、子どもたちが健やかに育ち、各世代が安心して生活し、いきいきと活動できる環境づくり

環境・都市

～水と緑に包まれ住まう～

- 豊かな自然環境を次世代に継承するため、一人ひとりが身の周りの環境について考え実践できる環境負荷低減に向けた取組
- 人口減少社会に対応した都市基盤の整備や生活環境の向上、一人ひとりがつながりをもって生活できる地域コミュニティづくり

安心・安全

～不安なく穏やかに暮らす～

- もしもに備えた危機管理体制の充実や、地域の防災・防犯体制の充実による、災害・犯罪に強いまちづくり
- 消防や救急体制の更なる充実による、誰もが安心して安全に生活できる環境づくり

「パブリックコメント」実施中!!

「長浜市総合計画 新基本構想(案)」がまとまりましたので皆さんからの意見を募集します。

- 募集期限：5月15日(日)
- 提出方法：任意の様式に①住所②氏名③電話番号を明記し、直接または郵送(消印有効)、FAX、メールのいずれかで下記まで
- 提出先：〒526-8501 長浜市八幡東町632 総合政策課
電話65-6505 FAX65-4006 ✉sougou@city.nagahama.lg.jp
- 閲覧場所：総合政策課、市政情報コーナー(東館1階)、北部振興局、各支所、市ホームページ

民生委員・児童委員にご相談ください

☎ 社会福祉課 (☎ 651-6536)

新入生・新社会人のみなさん 鉄道・バスをご利用ください

☎ 都市計画課 (☎ 651-6560)

5月12日は 民生委員・児童委員の日

高齢者やしょうがいをお持ちの人への支援が必要なとき、子育てや介護の心配ごとや不安など、困ったことがあるときは、地域の民生委員・児童委員、主任児童委員へお気軽にご相談ください。

民生委員・児童委員の活動

民生委員・児童委員は次のような活動をしています。

○調査と実態把握
地域住民の生活状態を必要に応じて適切に把握することに努めています。

○相談・援助、情報提供

援助を必要とする人が、自立した日常生活を送れるよう、生活に関する相談に応じ、助言その他の援助を行います。

また、福祉サービスを適切に利用するために必要な情報の提供も行います。

○関係者・団体との連携、関係行政機関への協力
社会福祉を目的とする事業者や団体等と密接に連携し、その事業や活動を支援するとともに、関係行政機関の業務に協力します。

○地域福祉活動と民生委員児童委員協議会活動
地域で暮らす人の福祉の増進を図るための活動を、必要に応じて行います。また、地区の民生委員・児童委員で組織する「民生委員児童委員協議会」において、委員同士の情報交換や連絡調整を図る例会(月に1回程度)等の活動や、資質の向上を図るための研修会に参加します。

主任児童委員の活動

主任児童委員は、民生委員・児童委員の中で、児童福祉に関する事項を専門的に担当する委員で、地区ごとに選任されています。

児童福祉に関する機関と担当地区の民生委員・児童委員との連絡調整や、援助および協力を行います。

公共交通には利点がいっぱい!

電車は時間に正確で安全、バスは安価でエコな移動手段です。さらに、移動中に読書したり、休憩するなど、自動車の運転中にはできない時間の使い方ができます。

市では、「乗って守ろう! 湖北の公共交通」を合言葉に、北陸本線や湖西線、路線バスの利用促進に取り組みしています。通勤、通学にぜひご利用ください。

◆電車利用に便利でお得 ICOCA定期券

ICOCA定期券などの定期券は、通常運賃と比べて最大6割引。また、ICOCA定期券は現金をチャージすれば、定期区域外でも利用することができ、さらに便利になっています。

※鉄道定期券の販売は利用開始日の14日前からです。最寄りの地元駅で購入ください。(ICOCA定期券は長浜、高月駅で販売中)

※詳しくはJRおでかけネット(<http://www.jr-odakeke.net/>)をご覧ください。

◆バス利用には定期券がお得です

○通勤定期券

湖国バス、余呉バスともに、1か月、3か月、6か月の3種類があり、割引率は期間や距離によって異なります。(割引率:約30~37%)

また、湖国バスの通勤定期券は、土日祝日に「環境定期券」として利用でき、通勤定期券区間外を1乗車100円(同伴の家族も1乗車大人100円、小人50円)で利用できます。

○学生向け定期券等

【湖国バス路線】

・中学生、高校生は、学生証提示で普通運賃が100円割引。

・1か月1万円で、長浜・米原市内の湖国バス路線が乗り放題の「高校生限定定期券」を好評発売中。

【余呉バス路線】

・中学生、高校生は、学生証提示で本ノ本駅または余呉駅で乗降する場合に限り普通運賃が200円。

※詳しくは、市または各バス会社のホームページをご覧ください。

※鉄道、バスとも、定期券ご購入時には、学生証等の提示が必要です。

都市計画マスタープラン説明会

☎ 都市計画課 (☎ 651-6560)

滋賀県東北部における都市計画区域の再編にあわせて、「長浜市都市計画マスタープラン」の改定を進めています。

同プランは、長浜市として一体的なまちづくりを進めるために、各地域の特性をふまえた土地利用や、道路・公園などの将来における都市整備の方針を明示するものです。

プランの改定内容についての説明および市民の皆さんからご意見をお聞かせいただくための説明会を、次のとおり開催します。

【開催日程】 時間は各回とも19時~20時30分

- 5月9日(月) 木之本公民館3階集会室
- 11日(水) びわ公民館2階研修室
- 13日(金) 市役所湖北支所2階大会議室
- 17日(火) 市役所本庁1階多目的ルーム
- 19日(木) 虎姫公民館第2研修室

※お住まいの地域に関わらず、どの会場へもご参加いただけます。(申込不要)



子育て応援サイト

「ながまるキッズ!」スタート

☎ 子育て支援課 (☎ 651-6514)

長浜市内で子育てを楽しむパパやママはもちろん誰もが便利に使える子育て応援ポータルサイト「ながまるキッズ!」がスタートしました。

市の子育て情報に加え、パパママから寄せられた情報もお知らせする、市民のみなさんと市が一緒につくるサイトです。



【掲載内容】

○こどもカレンダー
お子さんや親子で参加できるイベントの情報や出生から1歳までのお子さんに関わる手続き等のスケジュール情報を掲載しています。

○知りたい!

子育てに関する行政情報やよくある質問、外出中の親子に優しい子育てバリアフリー施設の情報をお知らせします。

○つながりたい!

長浜市で活動する子育て関連団体・グループの活動状況やパパやママ発信の子育て情報がまる特派員レポート」を掲載しています。

◆ながまるキッズ! ポータルサイト

<http://www.kosodate-nagahama.com/>

◆ながまるキッズ! フェイスブックページ

<http://www.facebook.com/nagamarkids.kosodate>



市立長浜病院からのお知らせ

5月22日(日)は病院内が停電します

☎ 市立長浜病院病院機能強化推進室 (☎ 68-2300)

改修工事に伴い、下記の日時に停電します。

ご不便をおかけしますので、不要不急の面会等はお控えいただきますようお願いいたします。

皆さまには、大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

【停電日時】 5月22日(日) 7時30分~17時

※進捗状況によって、多少時間が前後する可能性がありますのでご了承ください。

「介護福祉士ステップアップ 応援金」を交付します

問 高齢福祉介護課 (☎651-7789)

介護福祉士の資格取得に向けた実務者研修の受講料の一部を助成します。

【対象・条件】

- ・ 次の要件をすべて満たす人
- ・ 市内の福祉事業所に勤務している、または勤務する意向があること
- ・ 市税および国民健康保険料(税)に未納がないこと
- ・ 他から助成を受けていないこと
- ・ 介護福祉士実務者研修を受講し、修了すること

【助成金額】

受講料の1/2以内(上限10万円)

【申請方法】

左記窓口にある申請書に必要な事項を記入し、受講修了日までに直接窓口まで提出してください。個人または事業所が申請できます。

※申請書は、市ホームページからダウンロードすることもできます。

※この事業は、平成29年度までの期間限定事業として実施する予定です。詳しくは担当課まで。

問合せ・申請先

高齢福祉介護課(東館1階)
☎651-7789

「一日年金相談所」を開設します

問 彦根年金事務所 お客様相談室
(☎0749-2311116)

【と き】 5月19日(木)

【ところ】 本庁西館5階 5-D会議室

【相談時間】 10時～16時

【申込み】 一週間前までに、左記の予約専用電話でお申込みください。

予約専用電話

彦根年金事務所
☎0749-2315489

(平日の8時30分～17時15分)

※この電話では、予約のみ受付します。

5月22日(日)は「ゴミの持ち込みが可能です」

問 環境保全課 (☎651-6513)

クリスタルプラザ、クリーンプラントおよび伊香クリンプラザでゴミの持ち込みを受け付けていますので、ご利用ください。

◆受付時間(各施設とも)

8時30分～12時、13時～16時30分

◆次回の持ち込み受付予定日

6月26日(日)

第一期「ながはまアグリベンチャー スクール」を開講します

問 商工振興課 (☎651-8766)

企業的な農業経営に必要な力を養う、農業版の創業塾「ながはまアグリベンチャースクール」の受講生を募集します。

【時期】 7月～平成29年2月(全6回)

【ところ】 長浜市内(市役所、大学施設等)

【対象】 アグリビジネスに関心のある農業者等

【入数】 20人程度(市内在住者優先)

【申込期限】 5月31日(火)まで

【参加費】 無料(交通費、食費等は実費)

【申込み】 申込書に必要な事項を記入し、郵送、FAX、または直接左記まで。申込書は右記担当課および左記にあります。また、市ホームページからダウンロードすることもできます。



問合せ・申請先

(一社) バイオビジネス創出研究会
〒526-0829 田村町1281-8
☎651-8808 FAX 651-8858

「みんなでこんせ長浜音楽祭」出演団体募集

問 文化スポーツ課 (☎651-8787)

秋に開催する「みんなでこんせ長浜音楽祭2016」に出演する湖北地域の音楽団体を募集します。

みんなで音楽祭をつくりあげ、音楽を通じて交流の輪を広げましょう。

【と き】 11月19日(土)～20日(日)

【ところ】 長浜文化芸術会館(大島町)

【演奏時間】 合唱団体…10分間

器楽団体…15分間

※いずれも入退場を含む。

【対象条件】 長浜市・米原市で活動している合唱または器楽の団体を対象とします。申込多数の場合は、抽選により出演団体を決定します。参加団体は実行委員会組織に入り、協賛広告集めやチケットの販売にご協力いただきます。

【参加料】 300円/人

【申込み】 5月22日(日)までに、FAXまたは直接左記まで。

問合せ・申込先

長浜音楽祭実行委員会事務局
(長浜文化芸術会館内)
☎631-7400 FAX 631-7401

長浜市青年使節団員募集のお知らせ

問 市民活躍課 (☎651-8711)

姉妹都市のドイツ・アウグスブルク市へ派遣する「長浜市青年使節団」の団員を募集します。

滞在中はホームステイを行うなど、交流を通じて国際交流・異文化理解を深めます。

【派遣期間】 8月21日(日)～31日(水)

(または、8月22日(月)～31日(水))

【応募資格】 4月1日現在、満18歳以上30歳未満の市内在住者で、健康で団体行動に協調

できる人。また、必要最低限のコミュニケーション能力(英語またはドイツ語)がある人。

【募集人数】 8人(申込多数の場合は抽選)

【締め切り】 5月31日(火) 必着

【参加経費】 一人あたり約21万5千円(うち、市より10万円を上限に支給します。参加経費が変動する場合があります)

【応募方法】

申込用紙に必要な事項を記入し、郵送、メールまたは直接担当課まで。申込用紙は担当課にあります。また、市ホームページからダウンロードすることもできます。

※未成年者の参加は、保護者の同意が必要です。詳しくは市ホームページをご覧ください。

問合せ・応募先

市民活躍課(西館3階)
〒526-8501 八幡東町632
✉katsuyaku@city.nagahama.lg.jp

長浜ライオンズクラブから 寄贈いただきました

問 長浜駅周辺まちなか活性化室 (☎651-6545)

長浜駅西口に、長浜ライオンズクラブ設立55周年の記念事業として、ガラスモザイク壁画(約700万円)を寄贈いただきました。

(株)黒壁が製作したもので、琵琶湖や長浜城などを背景に秀吉公が描かれています。観光客や市民を華やかに迎えてくれます。

【寄贈者】

長浜ライオンズクラブ
会長 藤本 経次氏



熊本地震 義援金募集

問 長浜市社会福祉協議会 総務課
(☎78-8294)

熊本地震被災者への義援金を募集します。お寄せいただいた義援金は、日本赤十字社、共同募金会を通じて被災地へお届けします。皆様のご協力をお願いします。

【受付方法】

- ①義援金受付窓口
長浜市社会福祉協議会本部・各センター
- ②募金箱
○長浜市社会福祉協議会本部・各センター
○市役所本庁・北部振興局および各支所

【受付期限】 6月30日(木)

長浜曳山まつり

4月13日(水)～16日(土)



ユネスコ無形文化遺産

登録へ提案

日本三大山車祭の一つで、国の重要無形民俗文化財に指定されている「長浜曳山まつり」。本日となる15日(金)は晴天のもと、子どもたちが見事な狂言を奉納しました。

そんな長浜曳山まつりを含む全国33の「山・鉦・屋台行事」が、今年秋のユネスコ無形文化遺産登録に向け、現在提案されています。

曳山は動く美術館と称されるほど、職人の技術が集結したものであり、また曳山行事は世代を超えて長年受け継がれています。このどちらもが登録の対象です。

このたびの提案は、長浜曳山まつりが世界に向けて発信できる文化遺産として評価されたことであり、これを契機として、全国に、世界に誇れる長浜市の財産として保存伝承していく機運を高めたものです。

老番山 翁山
お園六三郎 浪華の春雨



長刀組
太刀渡り



四番山 萬歳楼
傾城阿波の鳴門
どんどろ大師の場



式番山 孔雀山
梶原平三 誉石切



三番叟



参番山 常磐山
妹背山 婦女庭訓
三笠山 御殿の場



ながはま 見聞録

Nagahama Hotnews

3月25日(金)～ 4月6日(水) 宇宙と太古のロマンを堪能

江北図書館で隕石と恐竜化石の展示が行われました。この展示は、子どもたちに科学への関心を持ってもらうとともに、図書館に足を運ぶきっかけになればと開かれたもので、隕石13点と恐竜化石33点が並べられました。展示の中には、「宇宙パワー実体感コーナー」として、隕石の実物や、隕石が落ちた衝撃でガラス状になったテクタイトと呼ばれる岩石に、直接触れることができるコーナーも用意され、来場者を喜ばせました。



3月26日(土)、27日(日) 暮らしの中で、うつわが育つ

北海道から長浜市へ移住してきた陶芸家、七尾佳洋さんとうた子さんのお家見学会と作品展示会が開かれました。ところは北国街道木之本宿。明治8年の古民家を、住宅兼仕事場としてリノベーションし、昨年秋、長浜市へ引っ越してきました。佳洋さんは、「主に食器などの使える陶器を作っています。それを使うことでその人の暮らしに馴染み、色が変わるなど変化していくことを楽しんでほしい」と話しています。



4月2日(土) 見守りたい、子どもたちの晴れ舞台

木之本町の意富布良神社で例祭が行われました。地元の子どもたちが可憐な巫女さんと稚児さんとなって、境内に花を咲かせました。その後、子どもみこしが町内を巡ってご加護をお祈り。3時間を越える長丁場でしたが、辻々で休憩しながら境内を目指しました。北国街道で、子どもたちを温かく見守る町内の人々の温かい眼差しが、伝統を受け継がれてきたと感じさせます。



4月2日(土) 『観音の里』を感じる春祭り

渡岸寺観音堂(向源寺)において「観音の里春まつり」が開かれました。つきたて餅の振る舞い、獅子舞、福餅まきなど、心のこもったおもてなしで自然と頬も緩み、境内は笑顔が溢れました。福餅まきの主役、新一年生の子どもたちが可愛い法被姿でやぐらの上に登場。詰めかけた人々に元気いっぱい福餅をまく姿がさらに笑顔を誘いました。

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介し、あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報課(☎65-6504)までお知らせください。市公式Facebookページでもさらに詳しくみることができます。

<https://www.facebook.com/nagahama.hotnews> 「長浜 ほっとにゅーす」 検索

4月4日(月) 本だからこそその感動を

大塚産業グループの新入社員4人が教育委員会を訪れ、図書館資料(10万円相当)を寄贈しました。

長浜図書館の開館を契機に、地域人材の育成を目的に始まったこの寄贈は今年で33回目。この日は、代表の岩崎望さんから「幅広く利用していただければ」と目録が手渡され、教育長は、「本だから得られる感動がある。とてもありがたく思います」と謝辞を述べました。



4月5日(火) 交通安全啓発体制が整いました

長浜市交通指導員に新たに51人が委嘱されました。うち13人は、警察官OBで組織する「滋賀県警友会」の長浜支部・伊香支部から推薦を受けて委嘱した方々で、豊富な知識と経験を生かして、交通安全啓発を進めていただきます。

交通指導員を警友会から推薦いただくのは、県内自治体初の試みで、全国的にも先進的なものです。2年間の任期中、自治会の交通安全教室の指導にあたっていただきます。

4月10日(日) 春の祭典で賑わいました

臨湖で、「イースターフェスタ」が開催されました。イースターは、キリスト教徒にとって最も重要な祭日のことですが、臨湖では、子どもから高齢者まで楽しめるイベントとして催しています。会場には、約40店のフリーマーケットや手作りのワークショップができるブースが並んだほか、イースターにちなんだゲームが催され、多くの人で賑わいました。



4月13日(水) 長浜市連合自治会から貴重な提案

長浜市連合自治会は、このたび人口減少社会における施策等の提案書をまとめられ、長浜市長に提出しました。内容は少子化対策や雇用労働対策など幅広いもので、提案を受けて市長は「市民に寄り添った大変良い提案をいただいた。取組は行政だけでは難しいので、連合自治会にもご協力をいただきたい」と応じていました。

市政の動き (3月16日～4月15日)

市役所内で行われた会議について、その内容を概略でお知らせします。詳しくはホームページまで。

会議名など	内容
3月22日(火) 第2回長浜市景観審議会 担当課:都市計画課(☎65-6562)	景観重要建造物(春日山山蔵)の現状変更への許可について、意見を付けて同意することを議決しました。
3月23日(水) 第1回長浜市みどりの基本計画検討委員会 担当課:都市計画課(☎65-6541)	現在の基本計画と市の現状について事務局から説明を受け、基本計画の問題点および改正案について意見交換を行いました。
3月24日(木) 第5回長浜市産業文化交流拠点整備検討会議 担当課:産業文化交流拠点整備室(☎65-6907)	事務局から前回会議のふりかえりとその後の動き、長浜市産業文化交流拠点整備事業計画の策定について説明を受け、今後の事業の進め方や施設づくりに対する意見交換を行いました。
3月24日(木) 第4回長浜市総合計画審議会 担当課:総合政策課(☎65-6505)	次期総合計画の策定にあたり、事務局から将来目指すべき都市像やまちづくりの重点テーマ・政策など、新基本構想の案について説明を受け、内容を協議しました。
3月25日(金) 第3回田村駅周辺整備基本構想策定懇話会 担当課:都市計画課(☎65-6562)	素案作成に向け、田村駅周辺のまちづくりの方向性や整備内容について担当課から説明を受け、意見交換を行いました。
3月28日(月) 平成26・27年度第11回長浜市図書館協議会 担当課:長浜図書館(☎63-2122)	平成27、28年度の事業について事務局から説明を受け、意見交換を行いました。また、図書館の組織機構の変更について事務局から説明を受けました。
3月28日(月) 第2回長浜市子ども読書活動推進会議 担当課:長浜図書館(☎63-2122)	平成27年度の事業報告と読み聞かせに関するアンケート調査の結果について事務局から説明を受け、意見交換を行ったほか、子ども読書活動推進における指標の推移について協議しました。
3月28日(月) 第1回長浜市建築審査会 担当課:建築住宅課(☎65-6533)	建築基準法第3条第1項第3号に基づく保存建築物の指定について説明を受けて同意したほか、同法第43条第1項ただし書きの許可について説明を受け、同意しました。また同条に基づく事後報告がありました。
3月30日(水) 第2回長浜市多文化共生・国際化のまちづくり市民会議 担当課:市民活躍課(☎65-8711)	長浜市多文化共生・国際化のまちづくり行動計画の進捗状況、外国人市民満足度および企業調査の結果について事務局から報告を受け、意見交換を行いました。
4月12日(火) 第3回長浜市都市計画マスタープラン改定委員会 担当課:都市計画課(☎65-6562)	長浜市都市計画マスタープラン素案(案)について担当課から説明を受け、質疑応答及び意見交換をするとともに、長浜市の目指す都市像(将来像)を協議しました。

市長
コラム 70

至誠通天

藤井 勇治



※至誠通天
誠を尽くせば天が
味方してくれること

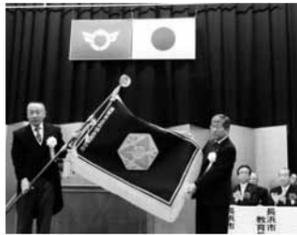
熊本地震により亡くなられた方々に対し、心からご冥福をお祈り申しあげますとともに、甚大な被害を受けられた皆様方に対しまして衷心よりお見舞い申しあげます。市では、熊本地震長浜市支援対策本部を設置し、全庁的な取り組みとして必要な支援が迅速かつ適切に行える体制を整えており、市民の皆さん共々、積極的に被災地支援に取り組んでまいりたいと考えております。

新設長浜北高校が開校

新しい時代の要請に応じた県立長浜北高等学校が開校しました。「教育は国家百年の大計」。この言葉を借りるならば、新しく開校された長浜北高校は、まさしく「長浜百年の大計」であるといえます。思い起こせば平成23年7月、唐突に県教委から発表された県立高校再編計画(原案)では、財政論による長浜高校と長浜北高校の統合計画が示されました。これを契機に地域をはじめ、多くの関係者

の皆さんから様々な意見や提言が大きくなるとなり、寄せられました。私は市長として、「長浜市の将来に大きく影響する」と判断し、県知事や県教育長と交渉し、「長浜の未来を拓く教育検討委員会」を設置し、研究結果を報告するまで待つべきと提案しました。この委員会では、昼夜を問わず熱心な議論を積み重ね、地域の熱い思いを結果した提言を取りまとめたいただきました。その結果、提言内容が全面的に盛り込まれた新校の設置が決まりました。両高校の長い歴史と伝統を継承し、夢と希望を抱きながら未来へと飛躍する統合新校が立派に開校されたことに、感慨無量であり、大変嬉しく思います。

320人の新入生の皆さん、入学おめでとう。新しい出会いや多くの友人、仲間のできる機会があり、新たな挑戦ができる無限の可能性が広がります。記念すべき一期生として、新たな歴史の1ページに足跡を残すチャンスです。



▲新設・長浜北高等学校
開校式(校旗の披露)

長浜市福寿大学の受講生を募集します

☎長浜市民交流センター (☎65-3366)

健康、歴史、政治、経済、くらしなどをテーマにした全7回の講座です。心豊かな生きがいのある人生を送りませんか。

【ところ】長浜市民交流センター(地福寺町)

【対象】市内在住・在勤の人 【定員】280人(先着順)

【受講料】2,500円(全7回)

【申込期間】5月12日(木)～17日(火)

9時～16時(水曜日休館)

【申込み】受講料を添えて長浜市民交流センター窓口まで。
(定員になり次第締切)

回	開講日	テーマ	講師(敬称略)
1	6月28日(火)	「長浜・びわ湖・日本」	元大蔵大臣 元滋賀県知事 武村 正義
2	7月21日(木)	「大谷吉継の生涯」 ～石田三成の盟友の実像～	長浜城歴史博物館 館長 太田 浩司
3	8月18日(木)	「心の荷物をおろす108の智慧」 ～世界一ホッ!とする妙慶さんのいい話～	真宗大谷派僧侶 アナウンサー 川村 妙慶
4	9月2日(金)	「安心して楽しく老いる街づくり人づくり」	京都大学医学研究科 医学研究科附属ゲノム医学センター 准教授 田原 康玄
5	10月11日(火)	「ストレスコントロールで心のパワーを高めよう!」	こころ元気研究所 所長 鎌田 敏
6	11月14日(月)	「湖国の自然と民話とともに」 ～小鳥になって歌いましょう～	作曲家 声楽家 野々垣 恵信
7	11月29日(火)	「暮らしにもっと笑いを」 ～笑いは元気のサプリメント～ 講演と落語	落語家 露の 紫

※ 講座時間はいずれも13時30分～15時30分

お元気ですか



市立長浜病院 院長
神田 雄史

病院機能の再構築

4月1日付で院長に就任いたしました。今後の当院の運営につきまして一言述べさせていただきます。

診療支援棟が、昨年10月に竣工しました。病院全体の機能を再構築し、病院が持つ強みを活かす目的で、平成23年度に基本構想に着手、基本設計・実施設計を経て、平成26年度より建設工事に着手しております。

地上4階建てで、1階に救急センター、MR、CT、中央監視室、2階に医局、女性医師専用ラウンジ、宿直室、3階にICU・CCU、中央手術室、心臓用血管撮影室、頭部血管撮影室、4階にファシリテイマネジメントスペースを配置しました。脳や心臓の血管障害に対する迅速かつ高度な医療の提供、本館で分散している各種検査機能の集

約や集中治療の改善、がん診療連携拠点病院としての診療機能強化、高度医療を提供できる医師の確保、女性医師をはじめとする医療スタッフのアメニティの充実を図ります。心臓用血管撮影室にはバイプレーン型フラットパネルディスプレイ搭載心臓血管撮影装置を導入しました。検査時間、被ばく線量、造影剤の使用量を低減しつつ、心筋梗塞、狭心症などの冠動脈疾患に威力を発揮します。頭部血管撮影室にはバイプレーン型新型FPD搭載頭部用アンギオ装置を導入しました。3D画像構築が可能となり、頭部血管撮影室で開頭手術が可能となりました。

問 市立長浜病院
(☎68-2300(代表))

第28回長浜市陸上競技大会 参加者募集



- 【とき】 6月5日(日) 8時～ 雨天決行
- 【ところ】 浅井ふれあいグラウンド(大依町)浅井文化スポーツ公園内
- 【出場資格・規定および参加費】
 - 市内に在住・在勤・通学の小学4年生以上の人
1人2種目以内の出場(但しリレーは除く)
参加費 1人200円
 - 市外の小学4年生以上の人 ※オープン参加。表彰の対象になりません。
1人1種目の出場(但しリレーは除く)
参加費 1人300円
- 【競技種目】 各年代男女別に100m走、リレー、走り幅跳びなど各種目を予定しています。
- 【申込期限】 5月22日(日)

※100mと走幅跳の組合せで、2種目出場することはできません。
※競技種目や参加申込み方法など、詳しくは下記まで。

問・申 浅井B&G海洋センター(☎74-3355)



▲大会の様子(昨年)

ながはまの文化財

市内には、国や県、市が指定した文化財がキラ星のごとく光り輝いています。このコーナーでは、448件ある文化財の中から代表的なものをシリーズで紹介いたします。
※平成27年7月1日現在

重要文化財工芸品 銅水瓶 一口

指定年月日 昭和52年6月11日
所有者 竹生島宝蔵寺(早崎町)

水瓶は、梵語(サンスクリット語)で「軍持」といい、比丘の持つべき十八物の一つで、本来は僧具(僧侶の日用品)です。インドでは、浄瓶と触瓶の二種類があり、浄瓶は飲用水を、触瓶は手洗水や身を清めるための水の容器でした。その後、仏菩薩に供える供養具として用いられる様になったものです。奈良時代の水瓶には、王子形

水瓶と注口のある仙蓋形水瓶がありました。鎌倉時代になると布薩形ができ、布薩会に用いられました。布薩会は、半月ごとに僧侶が集まり互いに自己の罪過を懺悔する儀式でした。布薩形水瓶は、膨らみのある胴に、外反りの口縁付長頸と鶴首形の注口を持っています。口縁には、尖台という塔形紐を附した蓋を持つのが通形です。

瓶の高台付根の上に、針書銘があり「敏満寺西谷西迎院住侶尊道坊弘安十一年三月下旬」と記されています。奈良法隆寺の乾元2年(1303)銘、東大寺の嘉元3年(1305)銘の水瓶と共に、鎌倉時代を代表する基準作例の一つとしてその価値は非常に高い史料です。

なおこの水瓶のあった敏満寺は、滋賀県犬上郡多賀町に所在した天台系寺院で、現在は廃絶しています。何らかの縁で、竹生島に伝来したと考えられます。

【弘安11年(1288) 高24・4cm
胴径14・0cm】



▲銅水瓶

この水瓶は、布薩形です。鑄銅製の挽物仕上げで漏斗形の口縁と頸、撫肩から始まる下膨れの豊かな胸部、肩には鶴首形の注口をつけ、外開きの高台裏には銅板の底板を嵌め込んでいます。注口の基部に菊花座を据え、長頸中央と肩・胴・高台裾に紐を巡らす簡素な装飾を持っています。この様に頸が長く、大きく張った胴に注口をつける形は、中世の水瓶の典型的な姿です。蓋の尖台が、欠失しているのが惜しまれます。この水

問 長浜城歴史博物館
(☎63-4611)

催し

◆講演会「戦国武家の生活文化」
【と き】5月13日(金)13時30分～
【ところ】浅井図書館(大依町)
【講師】福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館
文献調査専門員 佐藤 圭氏
【定員】60人(先着順)
【参加費】500円
【申込み】電話で下記まで。
☎浅井歴史民俗資料館
(☎74-0101)

◆第14回チャリティ茶会
「女性と女兒に輝く未来を」をテーマに、茶会を開きます。
【と き】5月18日(水)10時～15時
【ところ】北ピコホテルグライエ
【お茶券】4,000円(香煎席、薄茶席、点心席)
【申込み】チケットは北ピコホテルグライエもしくは下記まで。
☎国際ソロプチミスト長浜 下村
(☎63-6080)

◆一日回峰行
歴史と季節を小谷城山麓で体感ください。下山後、講演会と茶会を開きます。
【と き】5月21日(土)9時～
悪天候時29日(日)
【集合場所】五先賢の館(北野町)
【対象】小学生以上(3年生以下は保護者同伴)
【定員】70人(先着順)
【講演】「大河ドラマ真田丸・その時代」
西原雄大 学芸員
【参加費】500円(小・中学生無料)
【申込み】氏名、電話番号を電話またはFAXで下記まで。
☎五先賢の館(☎74-0560
☎74-0910)

◆いきいき健康フェスティバル!
「幸せは心と体の健康から」をテーマに、子どもから大人まで楽しめるイベントです。ぜひご家族そろって遊びにきてください。
【と き】5月22日(日)10時～16時
【ところ】長浜バイオ大学(田村町)
【内容】講演会、健康講座、血管年齢測定、血糖値測定、お薬相談、歯科検査、体力測定、骨密度測定、手術縫合体験、科学実験教室、ちびっこ薬剤師体験、ロードトレイン、消防はしご車見学、献血、野外ステージ、飲食など
☎NPO法人健康づくり0次クラブ
(☎0749-50-3191)

◆ピュアプラス 第3回定期演奏会
長浜市・米原市でのイベントなどを中心に、地域に根付いた演奏活動をしている吹奏楽団「ピュアプラス」の定期演奏会です。
【と き】5月22日(日)
13時30分開場 14時開演
【ところ】ルッチプラザ(米原市長岡)
【曲目】ほら吹き男爵の冒険
サザンオールスターズ・メドレー、ミス・サイゴン 他
※申込不要、入場無料
☎ピュアプラス 伊藤
(☎090-8654-9818)

◆国際交流特別講演会
外国人市民が消防団として活躍している草津市の取り組みを紹介する講演会です。交流会にもぜひご参加ください。
【と き】5月22日(日)
講演会 14時～ 交流会 15時～
【ところ】長浜市多文化共生・国際文化交流ハウスGEO(神照町)
【講師】草津市危機管理課防災専門監 岩佐卓實氏 ほか
【定員】50人
【参加費】講演会は無料。交流会500円(会員無料)
【申込み】電話で下記まで。
☎長浜市民国際交流協会(☎63-4400)

講座・教室

◆弓道スポーツ教室
弓道をやってみたくて思っていた社会人の皆さん、気軽にご参加ください。
【と き】5月24日(火)～6月21日(火)の
毎週火・土曜日19時30分～21時
【ところ】長浜市民弓道場(宮前町)
【受講料】5,000円(全9回分)
【申込み】電話で下記まで。
○弓道無料体験教室もあります。
【と き】5月22日(日)13時30分～16時
【申込み】電話で下記まで。
☎長浜市民弓道場(☎63-0212)

◆硬式テニススクール受講生募集
【と き】5月25日、6月22日、29日、
7月13日、7月27日、8月
3日、31日、9月21日
19時30分～21時(全て水曜日)
【ところ】長浜バイオ大学ドーム
屋内コート(田村町)
【対象】11歳以上の初級者
【受講料】7,000円(全8回)
【定員】24人(先着順)
【申込み】5月18日(水)までに名前と連絡先メールで下記まで。
☎長浜テニス協会
✉nagahamatennis@yahoo.co.jp

募集

◆全国戦没者追悼式参列者募集
8月15日(月)に日本武道館で開催予定の全国戦没者追悼式に参列する遺族を募集。
【対象】戦没者の配偶者、子、父母、兄弟姉妹、孫で8月14日(日)～15日(月)の1泊2日の団体行動ができる人
※原則1柱1回。2回目の参加希望者やしょうかいをお持ち

ちで介助者の同行が必要な人は下記まで問合せ。

【定員】50人
(応募多数の場合は抽選)
【参加費】5,000円程度
(介助者自己負担)
【応募方法】はがきに①郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、戦没者との続柄、電話番号、②戦没者の氏名(ふりがな)、戦没時の本籍都道府県名、陸・海軍の別を記入して下記まで(5月31日(火)消印有効)
☎滋賀県健康福祉政策課援護係
(☎077-528-3514
〒520-8577大津市京町四丁目1-1)

◆国際フェスタ～ながはま多文化共生～スタッフ募集
国籍を超えた仲間と一緒にイベントを作り上げませんか。皆さんのアイデアがイベントになります。どなたでも参加いただけます。申込みは電話で下記まで。
○第1回ミーティング
【と き】5月30日(月)19時～
【ところ】長浜市多文化共生・国際文化交流ハウスGEO(神照町)
☎長浜市民国際交流協会
(☎63-4400)

◆日本語教室ボランティア講師募集
長浜ユネスコ協会では、市内に暮らす外国人の生活を支援するため、日本語教室を開講しています。授業は日本語で行います。日本語教育に関心のある人や国際交流に携わりたい人はご連絡ください。資格は不要です。
【開講日】週2回(水・土曜日)
19時～20時30分
※どちらかの曜日だけでも可
【会場】長浜市多文化共生・国際文化交流ハウスGEO(神照町)
☎長浜ユネスコ協会事務局
(生涯学習課内)(☎65-6552)

◆相続等無料相談会
司法書士、弁護士、税理士が、相続・遺言・不動産・税金・裁判等の相談を無料で受付けます。些細なことでも、お気軽にご相談ください。
【と き】5月29日(日)13時～17時
【ところ】米原公民館(米原市下多良)
※予約を優先します。
☎司法書士法人equal(イコール)
(☎0749-24-5131)

結婚相談

【長浜地域】5月26日(木)18時～20時
市民交流センター(地福寺町)
【浅井地域】5月27日(金)18時～20時
湯田公民館(内保町)
【びわ地域】5月27日(金)19時30分～21時
びわ公民館(難波町)
【虎姫地域】5月27日(金)18時～20時
虎姫公民館(田町)
【湖北地域】5月19日(木)18時～20時
湖北公民館(湖北町速水)
【高月地域】5月11日(水)13時～15時
高月支所(高月町渡岸寺)
【木之本地域】5月19日(木)15時～17時
公立木之本公民館(北部振興局内)
【余呉地域】5月28日(土)10時～12時
山村開発センター(余呉町中之郷)
【西浅井地域】5月18日(水)13時～15時
西浅井公民館(西浅井支所内)
☎社会福祉課(☎65-6536)
市ホームページ「結婚支援」で検索またはQRコード
※いずれの会場も提供できる情報は同じです。
※登録の有効期限は3年です。再登録を希望する人は、各会場でお申し込みします。

女性の悩み相談(要予約)

【と き】5月12日(木)10時～14時
5月21日(土)12時～16時
6月2日(木)10時～14時
【ところ】市民交流センター和室
【相談員】下地久美子さん(臨床心理士)
【料金】無料
※託児あり(要予約)、秘密厳守
☎平日:人権施策推進課
(☎65-6556専用ダイヤル)
土日:市民交流センター
(☎65-3366)

長浜米原休日急患診療所 5・6月の診療日のお知らせ

【診療日】5月1日、3日、4日、5日、
8日、15日、22日、29日
6月5日、12日、19日、26日
【診療時間】9時～18時
【診療科】内科・小児科
【受付時間】8時30分～11時30分
12時30分～17時30分
【場所】宮司町1181-2
湖北医療サポートセンター
「メディサポ」内
【電話番号】65-1525
※受診時は保険証・お薬手帳・母子健康手帳(乳幼児の場合)をお忘れなく。
※診療日は日曜・祝日・年末年始(12月30日～1月3日)です。
☎健康推進課(☎65-7779)

不用品交換情報(4月18日現在)

◆ください(無料)
○大人用自転車○洗濯機○子ども用自転車○子ども用スキーウェア○マッサージチェア○小学校体操服○ラミネーター○将棋一式○家庭用ミシン○エレクトーン○衣紋掛け○踊り用扇子○電子ピアノ○和布団とマットレス○サイドボード○子ども用トランポリン○パラポラアンテナ○米の保管庫○冷蔵庫○植木鉢○ガスコンロ○一人かけソファ

◆ゆずってください(有料)
ラミネーター○子ども用自転車○踊り用扇子

◆あげます(無料)
○植木鉢○オーディオラック○猫の小屋○灯油ポリタンク○ガスコンロ○食品棚○洋画ビデオテープ○大型スチール棚

◆ゆずります(有料)
○キーボード○ポップアップトースター○男性用ボウリングシューズ、ボール○ベビーベッド○三輪車○パラポラアンテナ○布団乾燥機

※現物は保管していません。
※市は取次ぎのみで、利用者双方の話し合いで決定していただきます。
☎環境保全課(☎65-6513)

有料広告欄

総合住宅リフォーム

住まいのことなら何でもおまかせ!!

屋根・外装 塗装 月々 5,000円～(ローン有)

(株)三共

【本社】彦根市和田町41-11
【支店】近江八幡市十王町339-6-102

☎0120-272-852

(株)三共は、京都サンガF.C.のオフィシャルスポンサーです

弁護士法人 おうみ法律事務所

いま必要なのは
専門家のアドバイスでは

〒526-0031 長浜市八幡東町225
代表弁護士 竹内 寛(滋賀弁護士会所属)
HP: http://www.ohmi.lawyers-office.jp

相談予約受付

0749-68-1530

土曜日相談可
(要予約)

相談料 1時間
5,000円(税込)
多重債務は無料

相談

◆福祉のお仕事探し出張相談
福祉の仕事探しについて相談をお受けします。気軽にお立ち寄りください。
【と き】5月13日(金)
13時30分～16時
【ところ】北部振興局(木之本町木之本)
☎湖北介護・福祉人材センター
(☎64-5125)



移住してきたからこそわかる
長浜の良さを伝えたい

料理研究家
土井 詩子さん (西浅井町大浦)

撮影場所：土井さん宅前

料理教室の生徒さんの「教わった料理を作ったら、家族がとっても喜んでくれた」という言葉がとても嬉しかったと話す土井さん。

仕事の都合で、家族で京都から西浅井に移住したのは今から11年前。不安な気持ちはありましたが、キャンプが好きで、引越す前から頻りに来ていたこともあってか、すぐになじめたそうです。

西浅井の印象は、自然が豊かで人が親切、そして何よりもお米や野菜が美味しい。この素晴らしさは、外から来たからこそ強く感じる事ができたといいます。地元の食材のよさをもっと多くの人に知ってほしいと決意。野菜ソムリエの資格をとり、料理教室などを開催したいと考えました。実家が飲

食店ということもあり、もともと料理が好きだった土井さんですが、原点である「地元の野菜のよさを伝える」レシピの考案には大変な時間を費やしたのだとか。

最初は、公民館の「土曜学び座」で子ども向けの教室を開講。「一度見ただけで作れるようになった」、「嫌いな野菜だったけど、この料理だと食べられた」という子どもたちの喜びの感想が寄せられたことに感激したそうです。「やってよかった。もっと料理教室をやってみたい！」とやる気がみなぎりました。

人との繋がりのおかげで、複数の公民館からも声がかかって大人向けの教室も開けるようになり、今では自宅で料理教室の開催や、不定期ながら、

まちなかにオープンした湖北暮らし案内所「どんどん」でランチを提供するなど、さらに活動の幅が広がっています。また、農産物出荷組合から依頼を受けて、特産品の新レシピ開発にも挑戦し、「太秋柿」を使った鹿肉丼のソースなどを考案、地域貢献に繋がる活動にも意欲満々です。

土井さんの料理のコンセプトは、「いつもの素材でちょっと違った料理を」。素材のよさを活かした工夫は、食べる人にいつも驚きと喜びを与えてくれます。

将来は、自分でお店も出したいなど夢を語る土井さん。惚れ込んだ西浅井のお米と野菜の美味しさを伝える料理が、多くの人を笑顔にしてくれることでしょう。

Smile Smile

このコーナーでは、市内在住のお子さんたちの写真を掲載します。笑顔と元気あふれるお子さんたちの写真を募集しています。掲載を希望する人は市民広報課（☎65-6504）まで申込みください。



いつも明るい真穂ちゃんとニコニコの実紀ちゃん。これからも姉妹仲良く、元気に育ってね。

(田村町)

安田 真穂ちゃん (平成22年11月生まれ)
実紀ちゃん (平成27年3月生まれ)



いつも、創太お兄ちゃんの事を真似する陽菜ちゃん。兄妹仲良くのびのび育ってね。

鈴木 陽菜ちゃん (平成25年4月生まれ)
創太ちゃん (平成22年12月生まれ)

(平方南町)

まちの人口	平成28年4月1日現在	人口 120,595人	男 58,955人	女 61,640人	世帯数 44,776世帯
	平成28年3月中の異動	転入 523人	転出 675人	出生 89人	死亡 112人 婚姻 56件